



平成 18 年 6 月 23 日

各 位

上場会社名 日本精密株式会社
(JASDAQ コード番号 : 7771)
代表者名 代表取締役会長兼社長 岡林 博
問合わせ先 管理グループリーダー 田崎 政己
T E L (048)225-5311

物産グラフトン株式会社の子会社化に関するお知らせ

当社は、平成 18 年 6 月 23 日開催の当社臨時取締役会において、三井物産株式会社より、三井物産株式会社が他 1 社と共有する特許権 4 件の共有持分を取得するとともに、物産グラフトン株式会社の株式 8 2 % を取得し、連結対象子会社とすることを決議いたしましたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 株式の取得の理由

当社は、企業価値向上のため高付加価値製品の開発を進めて参りましたが、今後需要が見込める機能性材料として、三井物産株式会社が他 1 社と共有しております、吸着材料及びその製造方法（登録番号第 2643823 号 日本） Adsorptive materials and process for producing them（5,506,188 米国） Adsorptive materials and process for producing them（0616845 英国、仏国、独国）豆腐産業廃棄物を処理してなる猫用トイレ砂（第 2689114 号 日本）の 4 件の特許技術に注目いたしました。同特許は、従来、希少金属の採取や医療技術として活用されてきた「高エネルギーグラフト重合法」を用いた、主に空気質環境浄化を目的とした化学吸着剤の製法技術特許で、日・米・英・仏・独で特許登録が成されており、国内外の学会/公的機関等から高い評価を得るとともに、多ジャンルにわたる大手企業による導入・採用を通じて、性能が実証されているものです。同特許および同特許に基づく事業を展開してきた物産グラフトン株式会社の株式をトータルで取得することで、同社の持つ製品開発力を弊社の汗にも臭わない時計バンド等に応用でき、当社の高付加価値戦略に合致するものと判断し、あわせて取得することと致しました。

2. 異動する子会社（物産グラフトン株式会社）の概要

- (1) 商 号 物産グラフトン株式会社（異動後、「エヌエスジー株式会社」に社名変更）
- (2) 代 表 者 代表取締役 藤木 哲丸
- (3) 所 在 地 東京都中央区日本橋本町一丁目 5 番 6 号

(4)設立年月日 平成 15 年 4 月 16 日

(5)主な事業の内容

1. 次の製品の、化学分析その他各種分析、試験、検査及び評価、生産、製造、加工及び売買、並びにこれらに関する受託及び技術指導

ア エチレン系、プロピレン系、ブチレン系、芳香族系製品、その他

イ 無機工業薬品、有機工業薬品及びガス

ウ 合成樹脂、合成繊維、合成ゴム等の高分子化合物

エ 殺虫剤、殺菌剤、除草剤その他農薬

オ 医薬品、医薬部外品、化粧品、香料、石鹸、医療機器及び医療器具

カ 触媒

キ 染料、顔料、塗料及び溶剤

ク 非晶質金属その他人工鉱物 等

2. 化学産業の技術及び自然科学に関する調査、研究及びその委託

3. 知的財産権（特許権・著作権等）の許諾、維持、管理及び売買

4. 投資業 等々です。

(6)決算期 3月

(7)従業員数 6名

(8)主な事業所 東京都中央区日本橋本町一丁目5番6号

(9)資本の額 100,000千円

(10)発行済株式総数 1,000株

(11)大株主構成および所有割合

三井物産株式会社（82%） グラフトンポラリズ株式会社(18%)

(12)最近事業年度における業績の動向

	平成 17 年 3 月期	平成 18 年 3 月期
売上高	33 百万円	40 百万円
売上総利益	11 百万円	13 百万円
営業利益	71 百万円	73 百万円
経常利益	71 百万円	73 百万円
当期利益	72 百万円	74 百万円
総資産	28 百万円	29 百万円
株主資本	32 百万円	105 百万円
1株当たり配当金	-円 -銭	-円 -銭

（注 1）当社が物産グラフトン株式会社を承継する条件は、三井物産株式会社が物産グラフトン株式会社に貸し付けている長短貸付金を全額免除することを契約条件としており、表示してある業績の動向は、債権放棄前のものである。

（注 2）物産グラフトン株式会社の業績には、三井物産株式会社からの出向役員及び社員の人件費及び経費を含んでおり、承継後は間接人員コストは削減される予定である。

3. 株式の取得先

- (1)商号 三井物産株式会社
(2)代表者 代表取締役社長 槍田 松瑩
(3)所在地 東京都千代田区大手町一丁目2番1号
(4)主な事業の内容 金属、機械・情報、化学品、エネルギー、生活産業、物流・金融の各分野において、グローバルに広がる拠点の情報力と総合力を活用し、商品の国内販売、輸出入、外国間貿易、さらには、資源開発や新分野での技術開発など各種事業を多角的に展開。
(5)当社との関係 資本・人的・取引関係 なし

4. 取得株式数、取得金額及び取得前後の所有株式数の状況

- (1)異動前の所有株式数 0株(所有割合 0%)
(2)取得株式数 820株(取得金額 5,000,000円)
(3)異動後の所有株式数 820株(所有割合 82%)
(注)株式の取得金額のほかに、特許取得契約を締結しており、特許権の取得に別途20,000,000円を、三井物産株式会社に支払う。

5. 日程

- 平成18年6月23日 株式取得及び特許権承認取締役会決議
平成18年6月29日 株式取得日
平成18年7月初旬 特許権取得日

6. 今後の見通し

事業の独立性を担保するために取得した物産グラフトン株式会社を「エヌエスジー株式会社」として社名変更し、当該事業を担当させます。技術開発を進め、当該事業と当社の既存事業のシナジー効果を追及しますが、直近においてはその効果は連結決算において売上の増加に寄与するに留まると考えております。グラフトンの持つ消臭機能を最大限に活用し、汗と金属などの複合臭に対応した時計バンドの開発や、弊社応用品グループの除電機等との複合化商品等、当該特許を利用した新規商品開発の目処が立ち次第、改めて公表いたします。

連結売上高のアップ

商品開発の高付加価値化

新規販路の確保

子会社化後の連結業績見通し

	平成19年3月期	平成20年3月期
連結売上高	3,319百万円(50百万円)	3,680百万円(70百万円)
連結営業利益	282百万円(3百万円)	407百万円(12百万円)
連結経常利益	211百万円(3百万円)	337百万円(12百万円)
連結当期純利益	208百万円(3百万円)	333百万円(12百万円)

(注1)()内は子会社化による影響見込み額である。

(注2)子会社化後の経費計画は、弊社の規定に順ずること及び取締役の報酬を大幅に削減することを織り込んでおり、業績は明確に改善する予定である。

以上